西伊敷小学校

令和６年度第３回学校運営協議会議事録

１　期　日　　令和６年１１月１日（金）　１０：００～１１：３０

２　場　所　　西伊敷小学校　校長室

３　出席者　　加藤　俊文，福徳　清和，藤﨑　剛，栫　和嗣，村山　雅子，
廣司　正良，有村　かおり，大石　博子，脇元　次男，
米倉　佐和

４　会順及び協議題
(1)　開会のことば
(2)　学校運営協議会長あいさつ
(3)　学校長あいさつ
(4)　学校の状況（学力，体力，健康状況等）について
(5)　授業・施設参観
(6)　協議及び情報交換
(7)　閉会のことば

５　協議の内容や意見等
○　熱中症を心配しなくてもよい気候となり，児童が校庭で持久走練習を行う様子に安堵した。
○　健康状況では，斜視・斜位を疑う所見が多いのが最近の傾向であることを危惧している。このことはデジタルデバイス使用時に，近距離での操作になることや，使用時の姿勢，使用時間等が影響している。デジタルデバイスは便利ではあるが,健康への悪影響もある点を児童・保護者に対して，より呼びかけてほしい。
○　施設状況で，児童用玄関の庇からの雨漏りが以前見られたが，状況は改善されているかどうか？
→　修繕済である。他の箇所も市教委へ申請を行い，順次修繕されているところである。
○　登下校を徒歩で行う児童は，元気である。ただ，あいさつはもう少し頑張ってほしい。上級生が下級生の面倒をよく見ながら登下校している姿をよく見かけ，すばらしいと思う。
○　西伊敷１丁目の交差点をはじめ，多くの箇所に地域の方が朝の立哨を行っている。児童は地域の方々に大切に見守られていると感じる。学校もそのような地域の方々に対して応えていく必要がある。
○　体力の現状で「長座体前屈」（柔軟性）に課題がみられるとのことであ

ったが，幼稚園でも同じである。体育の授業における最初の10分間を補強運動に充てる等の工夫をしてみてはどうだろうか。また，走力についても，足腰を鍛えるために，徒歩での登下校がやはり大切である。

○　長期欠席傾向の児童が２名以上いる学級の担任は，大変な面も多いと感じる。チームで対応し，一人に大きな負担を抱かせないようにしてほしい。

○　学力の状況では，「国語力」が大切であると感じる。まず，読む力が前提で，何を言っているのか理解しなければ，問題を解くことに支障が生じる。国語力（日本語力）を是非伸ばしてほしい。

○　児童はよく授業を聞いていた。求められる学力が変化する中で，大学入試や高校入試の問題も変わってきている。そのためには，やはり，国語力が大切で，11月は読書月間でもあると聞いたので，多くの文章に親しませてほしい。そして，「古事記」や「日本書紀」等の書物も，日本の古くからの民話等が書かれているので，面白いと思う。

○　勉強や運動ももちろん大切ではあるが，児童一人一人の長所は多くあると感じる。（非認知能力…物事に対する考え方，取り組む姿勢，行動など，日常生活・社会活動において重要な影響を及ぼす能力のこと）

○　朝の立哨を行っているが，児童は話に夢中であいさつに積極的でないことが多い。しかし，こちらから日常的な話題を話しかけることで関係性ができ，そこからあいさつ等もするようになってくれた。

○　登下校で送り迎えをしている保護者の方は，損をしているように思う。歩いて登下校することで，体力はもちろんのこと，友達や他学年との交流や感性等が育まれるように思う。

○　以前はＰＴＡ廃品回収等で地域の方と交流する場もあったが，今はその方法も変わり，つながりが薄くなっているように感じる。学校と地域の関係が細くなっていかないようにしてほしい。

○　４年生では外部講師を招いて「ごみの３Ｒ教室」の授業を行っていたが，そのような体験は大人になっても記憶に残っており，生かされると思う。保育園でも子ども会議を積極的に取り入れ，遊びについて話し合わせる等しているところである。

○　資料を見ると，近年の西伊敷小の学力や体力は向上してきているといえると感じる。先生方に感謝したい。そして，学力向上に向けた課題となっている部分の本質は，読解力であるように思う。問題文の文意や出題の意図をつかむことが非常に大切で，そのような力を育てることも大事だと思う。